探求書道 I 学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校

教諭 水口 昌紀

1. 平成25年2月8日(金)第2限目 2. 場所 書道教室(4F) 3. 学年 2年書道系列選択生 4名(女子4名)
4. 生徒観 書道に興味関心を示し、高い学習意欲と実技力を持ち合わせている半面、集中力が続かない生徒もいる。よって、実物投影機の活用や机間指導を頻繁に行うことで、個々のつまずきに応じた指導に努めたい。
5. 単元 行書の学習—蘭亭序—
6. 単元の目標 行書の特徴を理解し、その技法を習得する。
7. 本時の目標 蘭亭序に見られる用筆や運筆を理解し、半切に体裁良く収められるよう工夫する。
8. 本時の創意工夫
  - ① 本時の学習内容を黒板で示す。
  - ② 実物投影機を活用し、分析的に用筆や運筆を確認する。
  - ③ 他者の作品を鑑賞し、良い点や改善点を共有する。
  - ④ 半切を使用し、作品化に挑戦する。
  - ⑤ 始業、終業の挨拶徹底と身なりや片付けの確認を行う。
9. 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点 *支援	学習形態	創意工夫
導入	始業の挨拶			一斉	⑤
	前時の復習	説明を聞く。	・前時の学習で行った半紙での臨書を、本時で作品化させることを伝える。		
	本時の学習内容	本時の学習内容を確認する。	・学習の流れを黒板に示しながら説明する。		①
展開		半切に書いてみよう。			
	臨書活動	・半切に1枚臨書する。	①筆順 ②一貫した流れ ③線の太細 ④文字の大小 に注意しながら臨書するよう促す。	個人	④
	鑑賞活動	・範書を見る。	*実物投影機を活用し、行書の用筆や運筆を想起させる。	一斉	②
	臨書活動	・範書を活かして臨書する。	*机間指導を行い、個々のつまずきを確認する。	個人	
		友人の作品を鑑賞しよう。			
	鑑賞活動	・友人の作品を鑑賞する。	・各々が書いた作品を黒板に掲示し、自己の作品にはない良い点や、友人の作品をさらに良くするための改善点を考えながら作品を鑑賞するよう伝える。	一斉	③
まとめ	片付け	・片付けをする。	・道具が洗われているか確認する。	一斉	⑤
	次時の予告 終業の挨拶		・次時も、引き続き蘭亭序の作品化に向けて取り組んでいくことを伝える。		⑤